

## 2017年 ITU 世界ロングディスタンストライアスロン選手権

開催日 2017年8月24日(日)

場所 カナダ ペンティクトン

～開催都市ペンティクトン～

バンクーバーから東に300kmの観光都市。人口約4万人の小規模な街だが、コロンビア山脈のふもとにあるため登山客が多く、街の至る所にモーター（駐車場付の宿）がある。私たちがその内の一つ『Tiki Shores』に宿泊。目の前にはスイムスタート会場となるOKANAGANLAKE（オカナガンレイク）が。レース会場の目の前にある絶好のロケーションだ。ちなみにここペンティクトンでは5年前まで「IRONMAN CANADA」が20回開催されていて街で一番大きい公園には歴代優勝者のモニュメントが飾られている。トライアスロンが盛んな場所でもあるようだ。



～大会について～

世界25か国から約700名の選手が登録。エリート（プロ）部門、年代別部門（5歳刻み）で順位を決める。今回日本からは80名の選手とサポートとしてJTU（日本トライアスロン連合）からコーチ、メカニック、メディカルそして通訳などマネジャー的役割の方たちがサポート。日本のエリート（プロ）選手がこの大会で入賞（総合10位以内）したことはなくレベルが高い。ショートディスタンス（51.5km）に比べるとサポート体制は薄いそうだが私にはとんでもなく充分。そして全国から集まった変態、、、いや仲間と励ましあってレースに挑むことができた。



～レースまで～

ペンティクトンに着いてからはRegistration (受付)、Pre Race (スイム試泳&バイク試走)、Gear Check(機材の点検)、Carbo Party (カーボパーティ)を済ませばあとはフリータイム。体調に影響しない程度に麦ジュース、葡萄ジュース(注1)を飲む。去年のオクラホマでは時差ボケが解消されず、ず～っと寝ていて私の部屋は「鉄人墓場」と揶揄されたが(笑)。今回は昨年と比較して移動時間も短く(それでも成田空港からペンティクトンまで20時間)、知り合いの選手も多く緊張度合いが少なかった。

\*注1ジュースはお酒のことです。

トラブルも殆どなかったが、あえて言うと一つだけ。一日早くペンティクトン入りしていたクルミッチ(=棚澤さん)のお誘いでバイクの試走に行った時のこと。クルミッチの先導でバイクコースと思われる湖を一周した。事前の高低差よりも低く「なんだ結構楽だな～」なんて思っていたのだが、レース当日にびっくり!!。クルミッチの先導されたコースとは違うかなり厳しい劇坂コースになっていて、下記写真全員、悔し涙を涙を流しながら登ったことは言うまでもない。クルミッチがこの事を知っていたかどうかは未だ闇の中だが、、笑。

でもレースまで徐々に気分を盛り上げていくことができた。



↑このメンバーでバイク試走をした



～レース当日～

レースは私の年代は6時40分スタートなので早朝3時半過ぎに起床。前日は18時に夕飯を食べ、睡眠導入剤代替りの葡萄ジュースを2杯飲み20時には就寝。2～3時間おきに目が覚めるが、ほぼ熟睡。モーターの陽気なママが前日夜に用意してくれたピーナッツバターサンドウィッチx2、バナナx1、日本から持ってきたどん兵衛（きつね）を食べる。トイレで軽量化した後、スイムスタート会場まで約10分歩く。

それにしても寒い。朝が冷え込むことは分かっていたが15度くらいか。吐く息が白く感じる。練習不足と直前まで風邪をひいていて免疫力が落ちている。しかもモーターのベッドマットレスが柔らかく腰が痛いのも気になる。でも雨が降ろうが槍が降ろうが、ここまで来たらやるしかない。会社の方に決起会までやっていただいた。レース前、自分の心の中で“覚悟”を決めるのが儀式。スタート前に“絶対にあきらめない”という気持ちを心に植え付けたら後はフィニッシュまで頑張るだけ。長い旅のはじまりだ。

～レース！～

Swim3km Bike130km Run30km Total162km

水温は21度と、気温より暖かく、時間差スタートのためバトルも少ない。泳ぎやすかったが後からスタートした年代のスイムが速い選手に抜かれ焦り気味。スイムが苦手な自分にとっては何時ものことなのですが、。



↑颯爽と走る榊澤さん

バイクも腰が痛く踏み込めない。いつもならバイクで抜いて上がるパターンなのに、この日は抜くどころか抜かれる。やはり世界レベルは半端じゃない。ただしバイクコースは応援も多く、何といても景色が最高。同じペースのカナダの選手と片言の英語で話したり、沿道の応援に答えたりペースは遅かったが楽しめた。

そして最後のラン。これが大ブレーキに。バイクを降りた瞬間に両太ももが激しく攣り悶絶。エイドステーションで塩を鷲掴みし一気に食べたものの終始脚が攣りまくり。でも周回コースであるランでは榊澤さん、岡本さんのパワフルな走りに刺激を貰い、励ましあいながら何とかフィニッシュラインを超えることができた。仲間と一緒に走り切った世界。トライアスロンは最高です！そしてチームハートビューは益々盛り上がるでしょう！！



↑岡本さん、スイムはやはり世界レベル



～結果～

Swim1 : 11 : 37

T15 : 25

Bike4:18:02

T24:21

Run3:45.:08

Total9:22:31

Age Rank59位 (69人中)

Overall Rank680位 (712人中)